

鳥の劇場 通信

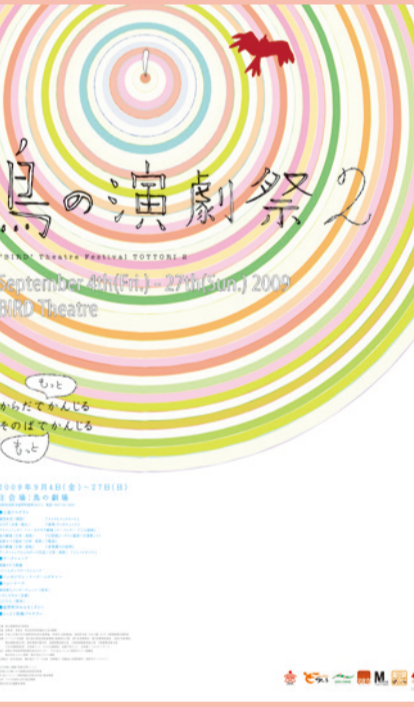
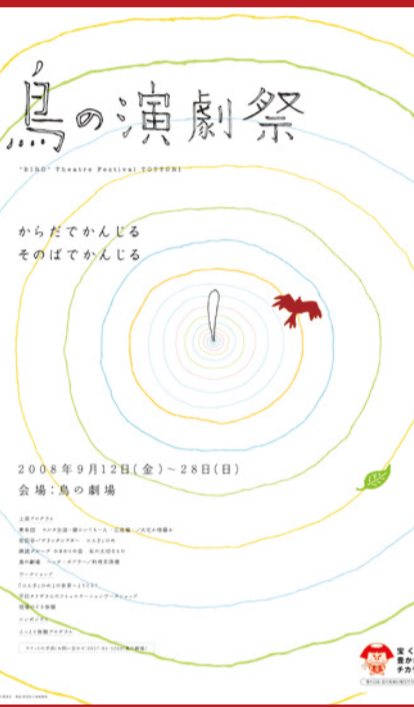
鳥の劇場は、鳥取県鳥取市野野町の原野に
あった小学校と幼稚園を劇場に建て、2006
年の夏に落成式を行いました。鳥の劇場という
名前、劇団名でも鳥の劇場でも構いません。
本意や夢の可能性がある。社会に対して
夢の力で本質的な劇団は何かを伝える。鳥
の劇場の原野、教育現場との連携、劇
のある人との連携などを行って、鳥
の劇場の発展を願っています。鳥の劇場
新しい未来を創りたいという思いが、鳥
の劇場の中心にある。2025年からは、大塚
や小島、衣笠、武蔵の劇団、鳥の劇場、カ
フェ、鳥の劇場が完成しました。2026年
活動開始から20周年を迎えます。

鳥の劇場

BIRD THEATRE COMPANY

vol.17

www.birdtheatre.org



『演劇祭』って何だろう



進行中&これからの鳥の劇場

三年事業、いよいよ完成間近!

つなぐを現してくれました。が、夜明け前が一番暗いとも言うのでしょうか。工事中のグラウンドは大きなどろんどろんの池に混濁しています。もどろどろで、しかし、混濁から生命は生まれ、新しい秩序を生み出される。春にはどろんどろんの池がどうなっているか、どうかご期待ください。グラウンドを工事です。古い校舎全てなくなり、美しい秋の山とグラウンドが広がる

劇場と町をつなぐ、鳥のカフェ

2025年6月、プレオープン期間を経て本格始動した「鳥のカフェ」。カフェを切り盛りするのは、地元・鹿野出身の徳岡あやさん。観劇に訪れるお客様や町の人々、時には劇団員の食を支える日々と、彼女の想いについて伺いました。

鳥のカフェは、春のプレオープンを経て、2025年6月に本格的にオープンしました。鳥の劇場の出身で、以前は鳥取市内のカフェや、隠れたリゾートホテルなどで働いていました。そんな中、イベント出演で鳥の劇場さんと関わったことがきっかけで、お声がけをいただいて、今のポジションを任せていただくことになりました。劇場さんが作ってきた「場所」や「表現の場」を壊さないように、うまく一緒にやっていけたらと思っています。劇場で育てられた野菜も使わせてもらって、本当にありがとうございます。メニューで推しているのは、地元の食材を使った料理です。町内の孤友会「シシタマの会」さんからはソーセージや鹿肉をいただいてますし、一心庵さんのパン、はらだ産さんの「益草(これの)生薬」、お米は気高い農家さんのものを使っています。こだわって選んたいなり、「目の前にあるもの」がすでに地産地消になっているという感覚ですね。鹿野の方にも喜んでもらえるように、料理の幅は意識しています。演劇祭や公演がある時には、観劇前にサクッと食べられる軽食や、公演のテーマに合わせたお弁当を作ったり、幕後の営業では、素材にこだわったランチやドリンク、スイーツなどを楽しんでもらえるようにしています。劇場さんからは、具体的なメニューのリクエストはあまりなくて、「街の人が集まる場所にしてほしい」といだけ言われました。それがとても印象に残っています。女子会がしたいか、歓迎会を開きたいか、夜にちっと飲みたいか...といったご要望も多くて、できる範囲で応えています。



2025年度「小鳥の学校」

小鳥の学校は、く自分で考え、行動する子ども達を目指す創造の場。リーダー13名、新しい仲間7名の計20名が集まり、15回目となる今年度はメーキング工作「青い鳥」に挑戦。「あの役をやりたい」「曲を作ってみよう」「去年できなかったことを挑戦したい」...いろんな思いを持つ子ども達が、200ページ以上の文庫本を舞台化して、アイデアを出しています。演技はみんな、衣装も音楽も舞台美術も、すべてみんなで創り上げて臨む。卒業生がジュニアスタッフも参加者の成長を支えます。本番は、2026年3月21日-22日。観る人にどうやって届けられるか?大人とジュニアスタッフが支えつつ、挑戦は続きます。



ラジオ番組「トリラジ!」

副芸術監督の青藤雅晴がメインパーソナリティーを務め、鳥の劇場の新たな一面を発信する番組「トリラジ!」俳優・スタッフの高橋、鳥の劇場の公演や事業の裏面など、普段聞けない話題が盛りだくさんです。放送は、FM鳥取(82.5MHz)で毎週土曜日の16時から30分間、月に1回のペースで更新しております。



鳥のゆき農場、2年目の実り

「鳥のゆき農場」とは、鳥の劇場の畑です。農業や化学肥料を使わない栽培を目指しながら、作物・人・自然との出会いを楽しんでいます。2年目の今年度は、畑の区画を貸し出す「ゆきの畑」を実施。親子や夫婦3組がご参加になり、春～冬にかけて、野菜の栽培と一緒に学びました。また、GW公演には植え付け体験、演劇祭時には「収穫祭」を行って、劇団員とお客様との交流の機会も設けました。手取った作物を収穫して食べるのは特別実ば、鳥のカフェでも使ってもらっています!劇場へお越しの際はぜひ、畑もそいでみてください。



活動報告

じゆう劇場、大阪万博に行ってきました!

2025年10月、大阪・関西万博で短編作品「赤ずきん」を上演しました。3回の公演を終えた出演者の二人が、そのときの様子を振り返ってくれました。特に印象に残っているのは「万博」という超ビッグイベントで演劇ができたこと。たくさんの人が興味を持って観てくれて、「良かった!」「感動した!」など感想や意見を伝えてくださったのが本当に嬉しかったです。じゆう劇場に興味を持って下さった方も増えました。「演劇を観てほしい」と声をかけた外国の方が観に来てくださり、意見も届けてくださったことは、もう本当に一番嬉しい出来事でした!それから、公演後にお客さんから「写真撮って!」「握手して!」と言ってきたので、嬉しくてドキドキしながら少し恥ずかしかったです。また、公演中にお話した方が北海道から来たので、教えてくださって、そんな遠くから来てくださるのにも驚きました。素敵な出会いだなと感じました。万博公演を終え、私は今まで以上にじゆう劇場で演じていることを頑張ろう!人でも多の方にじゆう劇場のことを知ってもらおう!そしてもっと演じていこう!と上を目指したいと感じました。メソクマツのしほを近くで見ると写真を撮られたら嬉しかったこととでもいい思い出になりました。北村未菜

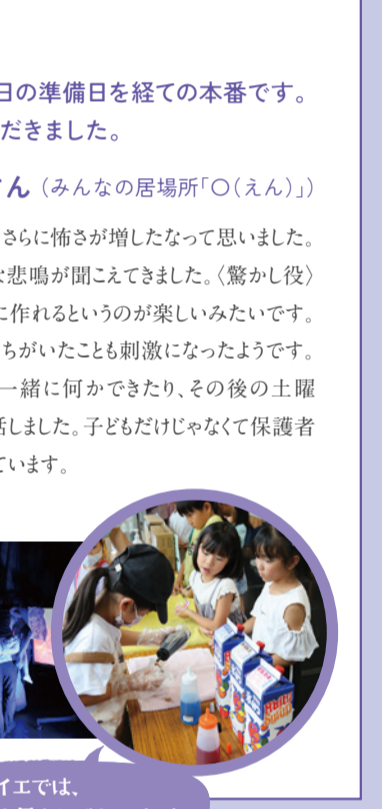


本気のみきだめし

2025年8月10日、お化けになって驚かしたい人、驚かされた人を募集して「本気のみきだめし」を開催!前日の準備日を経ての本番です。当初は20組の予定でしたが、当日のぎわいを受け、途中から枠を広げ、最終的に30組の方ににご参加いただきました。驚かされる側 佐藤瑞海さん(高等専門学校1年生) 驚かせる側がストーリーや仕掛けを用意してお客さんに届けてもらうのですが、自分たちで想い伝えたい自由な発想で作れるのがすごく魅力です。私たちが、行方不明になった女の子を探して「ストーリー」なので、トリックから劇場の裏の裏に出てくる女の子を2人で演じて、あふり出たののちにいるみみい演出でお客さんを楽しませました。小学生と中学生と班を組んだんですが、想像力が豊かすぎて楽しかったです。発想がいっぱい出てくるからストーリーを豊かにするのが楽しかったです。来年は驚かされる側もやってみたいです!

驚かされる側 白鳥宏江さん(みんなの居場所〇(えん))

今年も新施設が使えるようになって、さらに備えが増えたと思います。CMに使えるんじゃないかというくらい大きな意匠が聞かれました。(驚かされる)の私たちは他の子たちのアイデアと一緒に作れるのが楽しいですね。今回、鹿野以外から参加してくれた子どもたちがいたことも刺激になったように、普段見えないような子と出会えたり、一緒に何かをしたり、その後の土曜夜や再会みたいな感じもなかったねと話しました。子どもだけじゃなく保護者さん(来年いつあー?)って楽しみにしています。



お知らせ

サポーター寄付のお願い

「リニューアル3周年!できた新施設!ともにも楽しむ場」のためのサポーター寄付のお願い
もう、がんばる、世界を変える

おかげさまで、2024年度(令和7年度)11月末までに145名の方から408口(2,040,000円)のご寄付をいただきました。昨年同時期(2023年度/令和6年度)は163名+633口(3,165,000円)でした。いただいたご支援は、駐車スペースの舗装や芝生の緑化、野外舞台の整備、日々の活動費などに大切に使用させていただいています。今年も、応援して下さる皆さまのお気持ちを糧に、少しずつ前へ進んでいます。

2026年サポーター寄付制度について
【賛助金】一口15,000円から、複数口も歓迎です。
【特典】実績報告書の送付、活動報告会(翌年度初め)への参加
【期間】2025年11月1日~2027年12月31日まで

【お申し込み方法】
サポーター寄付には4つの方法がございます。入金確認後、会員登録をご送付いたします。振替手数料はご負担ください。

1 郵便局窓口でご入金
郵便局指定用紙に、お名前、ご住所、お電話番号、お持ちでしたらメールアドレスをご記入ください。
【郵便振替口座】01300-158939 特定非営利活動法人鳥の劇場

2 直接現金でご入金
鳥の劇場にてお受けいたします。

3 銀行振込、インターネットバンキングでご入金
下記各銀行口座が、名義はすべて「特定非営利活動法人鳥の劇場」です。お名前、電話番号を必ずご入力ください。

【ゆうちょ銀行】139(イサキ支店) 当座 当座預金 00580939
【みずほ銀行】鳥取支店 普通預金 17182661 【鳥取銀行】本店営業部 普通預金 0269653
【山陰合同銀行】鳥取営業部 普通預金 3894167 【鳥取信用金庫】本店営業部 普通預金 0322825

【クレジットカードでご入金】
鳥の劇場のウェブサイト(「サポートしたい」のページ)よりお申込みを受け付けております。スマートフォンの方はQRコードからページをご確認ください。

【お問い合わせ】鳥の劇場(担当:高橋・中川)
〒689-0405 鳥取県鳥取市野野町野野1812-1
TEL: FAX(0857)84-3268 E-mail info@birdtheatre.org



上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために

公演日は無料送迎します
JR鳥取駅・鳥大駅・浜村駅と鳥の劇場を結ぶ送迎バスを運行します。無料です。どなたでもご利用いただけます。※バスは定時運行です。乗車人数を超過する際、乗車予約をお願いします。※予約は観劇券をウェブ上でご予約の方の予約ページにてご確認ください。

新しいカフェができました
上演の前夜、おしいドリンクや軽食をお楽しみください。

English subtitles available
セツの英語訳を自動的に表示するPodcastをご用意しています。Programmes are available with English subtitles which automatically appear on the iPod screen.

鳥の劇場へのアクセス
鳥取県鳥取市野野町野野1812-1 電話:0857-84-3268

■JRを使って
劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。春・秋公演は送迎バスを運行します。無料です。どなたでもご利用いただけます。※バスは定時運行です。乗車人数を超過する際、乗車予約をお願いします。※予約は観劇券をウェブ上でご予約の方の予約ページにてご確認ください。

■車をを使って
-山陰道 鳥取西道路、浜村野野温泉IC-劇場まで約10分
-鳥取市街から約30分
-鳥取駅から、山陰本線、鳥取方面行で25分
-野野駅から、山陰本線、鳥取方面行で20分
-米子市街から約1時間20分
-米子市街から約1時間45分

道路案内標識が2ヶ所に設置されています。

鳥取県

■東京 JR 約1時間15分(特急列車:鳥取線)
JR 約3時間30分(普通列車:鳥取線)
■京都 JR 約3時間(特急列車:鳥取線)
JR 約3時間(普通列車:鳥取線)
■大阪 JR 約2時間30分(特急列車:鳥取線)
JR 約2時間30分(普通列車:鳥取線)
■岡山 JR 約2時間(特急列車:鳥取線)
JR 約2時間45分(普通列車:鳥取線)

大阪・神戸・広島・姫路の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。

※ご宿泊について
【山陰バス】0857-84-2211 【お宿予約】0857-84-2411 【鳥取温泉】0857-82-0531 【浜村温泉】0857-82-2100
【samshe.jp】 【お宿予約】0857-84-2411 【ryuho.com】 【ryuho.com】 【oyado-tokyo.jp/hamamura/】

鳥の劇場

劇場の兄弟は、休館日・公演日以外いつでも可能です。休館日ご不明な点について、お電話でご確認ください。また、時期により積古の見学も行ないます。積古予定は鳥の劇場ウェブサイトよりご確認ください。特定非営利活動法人鳥の劇場 ウェブサイト www.birdtheatre.org 〒689-0405 鳥取県鳥取市野野町野野1812-1 電話・ファックス 0857-84-3268

